

都市再生整備計画(第1回変更)

みなみとやまえきしゅうへんちく
南富山駅周辺地区

とやまけん とやまし
富山県 富山市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	☐
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	☐
まちなかウォークアブル推進事業	☒

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	富山県	市町村名	とやまし 富山市	地区名	みなみとやまえきどうへんちく 南富山駅周辺地区	面積	78.5	ha
計画期間	令和	6	年度	～	令和	10	年度	
					交付期間	令和	6	年度
						～	令和	10
								年度

目標
大目標:コンパクトシティの深化に向けた地域拠点の形成 目標1:鉄軌道等の公共交通結節力を活かした歩行者中心の交通環境の形成 目標2:暮らしたい・暮らし続けたいとなる都市空間づくり 目標3:文教地区などの地域特性を活かした公民連携による活力創出
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)
まちづくりの経緯及び現況 富山市では、「富山市都市マスタープラン」(平成20年度策定・平成30年度改訂)において、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を主要な施策に掲げ、市内14地域に地域生活拠点を設定するとともに、主要な公共交通によってネットワーク化し、公共交通の活性化・公共交通沿線への居住誘導・中心市街地等の活性化を柱とした施策を進めてきた。 南富山駅周辺地区(以下、「当地区」という。)は、富山南部地域の地域生活拠点であるとともに、地鉄不二越・上滝線や市内軌道線、路線バスやコミュニティバスなどが接続する重要な交通結節点である。また、周辺には中学校や高等学校などの教育施設が立地する文教地区であり、さらに、駅前にはアーケード商店街を有するなど、多様な世代が訪れる地区である。 一方で、富山駅高架下での路面電車南北接続による公共交通利用者の増加に伴い、南富山駅利用者が増加しており、送迎のための車両や、南富山駅を目的としない通過交通も多いことから、歩行者の安全性が保たれていない現状がある。また、狭い道路が残され、空き家や空き地が増加している住宅地や、商店街を含む、地域活力の低下といった課題を抱えており、当地区が有する拠点性の高さを十分に発揮できていない。 こうした中、当地区では地域主体のまちづくり団体である「南富山まちづくりを考える会」が平成28年に発足し、駅前空間を自動車中心から人中心に変える社会実験や民有地を活用したマルシェイベントを開催するなど、まちづくりへの機運が高く、令和5年度には、地域住民や交通事業者、行政などの関係者とともに、南富山駅周辺の10年先を見据え、交通結節機能の強化や住環境の向上などの都市基盤整備を通じ、活力と魅力あるまちへと再編するための将来ビジョンを策定している。
課題 ・富山駅高架下での路面電車南北接続により、公共交通利用者が増加する中、通過交通や送迎車両の多さなどから、安全な歩行者空間の確保と交通結節機能の強化が求められている。 ・併せて、駅周辺の既成市街地を中心とした住宅地では、狭あい道路や空き地・空き家が存在しており、文教地区や商店街といった地域特性を活かした居住誘導の実現や活力の創出が求められている。
将来ビジョン(中長期) ①富山市都市マスタープラン(2008～2025)(平成20年度策定・平成30年度改訂) ・南富山駅の交通結節機能の充実に併せた駅前商店街等の充実 ・地鉄不二越・上滝線の活性化に併せた沿線の居住環境整備 ・都市基盤の整備による良好な市街地の形成 ②富山市立地適正化計画(2017～2025)(平成29年度策定・令和元年度、令和5年度改訂) ・南富山駅周辺は市独自に都市機能誘導区域に設定し、地域生活拠点に位置づけ ・日常生活に必要な都市機能の誘導とともに、駅・交通結節機能の強化に向けた施策を新たに検討

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。	
都市機能配置の考え方	
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。	
居住誘導方針の考え方 ※居住誘導促進事業を活用する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。	
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等	
一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォークアブル推進事業の計画	
滞在快適性等向上区域の考え方 南富山駅を拠点とし、駅中心から半径500mを都市再生整備計画の区域として設定し、今後、重点的に整備を行うエリアを滞在快適性等向上区域とする。	
滞在快適性等向上区域での取組 交通結節機能の強化や住環境の向上などの都市基盤整備を通じ、活力と魅力あるまちへと再編していくための取り組みを推進する。	

都市再生整備計画事業の計画
都市のコンパクト化の方針
拠点となる施設の設定方針
防災拠点整備方針

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1日あたりの南富山駅利用者数	人	南富山駅(市内軌道線及び地鉄不二越・上滝線)の1日あたり利用者数(国土数値情報)	鉄軌道等の公共交通結節力を活かした歩行者中心の交通環境の形成	3,415	R3	3,415	R10
南富山駅周辺における公共交通が 便利な地域の人口	人	富山市が掲げる公共交通が便利な地域に居住する市民の数 (市調査)	暮らしたい・暮らし続けたいとなる都市空間づくり	2,362	R4	2,362	R10
南富山駅周辺の地価公示価格	円	公表地価公示価格(1地点)	文教地区などの地域特性を活かした公民連携による活力創出	61,800	R4	61,800	R10

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【整備方針1】歩行者ネットワークを中心とした交通結節機能の強化 ・駅までの歩行者ネットワークの構築等により、車以外のモビリティや歩くことを中心とした空間への変容を図る。		提案事業「道路空間環境改善事業」
【整備方針2】地域特性を踏まえた拠点性の向上		
【整備方針3】官民協働による将来像の共有と魅力づくり ・交通事業者を含めた関係者や地域住民等とともに策定した将来ビジョンに基づき、具体のまちづくり方針図などを示す基本計画を策定する。		【基幹事業】計画策定支援事業 南富山駅周辺まちづくり基本計画策定事業
その他		
【南富山駅周辺まちづくりビジョン】 ・南富山駅周辺のエリアコンセプトを策定		
【その他官民協働の取り組み事例】 ・南富山まちづくりを考える会による駅前空間を活用した社会実験等の実施 ・民間事業者による民有地や民間建築物を活用したイベント等の開催 ・富山地方鉄道株式会社と富山市による「南富山駅周辺まちづくり」に関する連携協力協定の締結		
【重点的に取り組むテーマ】※まちなかウォーカブル推進事業における計画策定支援事業を実施する場合に設定が必要 「鉄道沿線」：交通事業者（鉄軌道・路線バス）である富山地方鉄道株式会社を含む、周辺自治会や学校関係者、不動産などからなる「南富山駅周辺まちづくり関係者協議会」を設置（令和5年7月）済み		

様式(1)-④-4

(金額の単位は百万円)

...A

...B

|(参考)都市構造再編集中支援関連事業

(参考) 関連事業

南富山駅周辺地区(富山県富山市)	面積	78.5 ha	区域	富山市大町、堀川町、今泉、太郎丸、太郎丸本町四丁目、堀川小泉町、堀川小泉町一丁目、堀川小泉町二丁目、大泉、大泉本町二丁目の一部
------------------	----	---------	----	---

